



代表取締役社長
前野 隆一氏

「“見えなかったもの”を“見える”ようにすることを目指して」

当社は、設計から加工・製造までを一貫して行える総合光学メーカー。“見えなかったもの”をどうすれば“見える”ようにできるかを追求しながら、新しい挑戦を続けています。例えば高速偏光干渉計“SuperFIZ”に、レーザー干渉計用ビームエクspander（測定範囲を拡大可能な装置）を組み合わせることで、 $\phi 500\text{mm}$ の大サイズ望遠鏡等の光学部品表面を測定することができます。こうした技術は世界で唯一のものです。

一方、様々な製品開発の中で特許出願件数も多くなり、①それらを十分に管理できていない、②海外展開を見据えてPCT出願の移行国の選択という課題がありました。

「海外展開を見据え、自立した知財活動の実現へ」

支援は2016年11月、特許出願の管理体制を整備することからスタート。社内で各特許出願の期限管理・予算管理を可能とするための整理手段を教えてもらいました。それまでは特許事務所に任せきりだったので、自社で特許出願の全体像を把握できるようになったのが大きなメリットです。また、発明評価の観点や手法についても助言をいただき、それによりPCT出願の移行国についても自社で判断できる体制作りが進みました。さらに、米国展開の計画があり、関連する他社特許の調査手法についても解説、今後の事業展開を検討していくところです。

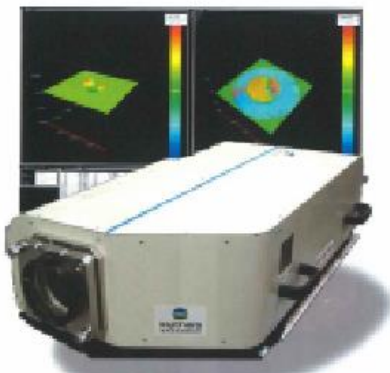
○今後の展望

今後は事業計画を踏まえ、オンリーワンの製品を守るための出願戦略の部分充実させていきたいと考えています。

○支援を振り返って

本件は、米国での新規事業の知的財産リスクマネジメントと知的財産管理といったベーシックな問題に取り組んでいる事例です。課題を解決すべく、引き続き支援をしていく所存です。

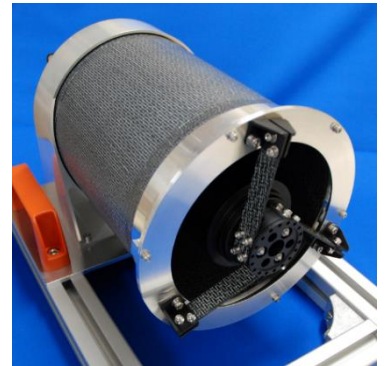
海外知的財産プロデューサー 松島 重夫



高速偏光干渉計“SuperFIZ”



ビームエクspander



宇宙望遠鏡